

歯



科

定期検診の重要性

30歳以上の約8割が歯周病

歯周病に慢性的に罹っていると、様々な全身の病気に罹る危険性を高めることが知られています。ご自身のみならず、大切なご家族、ご友人の健康維持のために定期的な歯科検診をお勧めします。

どうぞ、この機会に歯科検診にご来院ください。



全身疾患への影響

歯周病が悪化するに従い、歯周病原細菌が産生する毒素が歯肉の毛細血管を通じて全身に搬送されると、心臓血管疾患、脳卒中（脳梗塞）、糖尿病の悪化、低体重児出産などを引き起こす危険性を高めるとのデータがあります。



医療費

自身の健康な歯を多く残す人ほど全身の健康も維持しやすく、医療費が低くなると言われています。歯周病に罹患していると誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）のリスクがあるが、歯周病をきちんとケアすれば4割減らすことができ、歯周病をケアすることで手術した方の入院日数が1/4になると報告されています。

「国民皆歯科検診」検討開始へ 「骨太の方針」に明記

45

5/30(月) 18:17 配信



0TELNEWS



日テレNEWS

政府がいよいよ「国民皆歯科検診」の実現に向けて検討を始めることがわかりました。

皆歯科検診

厚生労働省の調査によると過去1年間に歯科健診を受けた人の割合は2016年度に53%だった。政府は毎年の歯科健診を義務付ける「国民皆歯科健診」制度を検討、定期健診で歯周病などの病気を悪化前に見つけ、定期健診を通じ、健康寿命をのばせるよう目指すと骨太方針案に明記された。
(2022.5.30日本経済新聞より)